

日中・日韓資源管理体制確立要求全国漁民大会開催

全国から代表者千人が参加

去る、十一月四日東京・虎ノ門パストラルにおいて、全漁連・二百海里水域資源管理推進本部主催による、「日中・日韓資源管理体制確立要求全国漁民大会」が開催された。大会には、全国から一千人の漁業者代表が参加した。本県からは、十五人が参加。

大会は、植村正治全漁連会長・二百海里本部長の主催者決意表明が行われ、植村会長は、「日中新漁業協定が署名から二年間、店晒しにされたまま未だ発効を見ない。この間、中国船は、わが国EEZ内に大挙して押し寄せ、漁場を占拠しわが国漁船が操業出来ない状況が続いている。又、日韓暫



主催者決意表明を行う「植村全漁連・200海里本部長」

定水域において、韓国船が押し寄せ、乱獲が資源に及ぼす影響は計り知れないものとなっており、わが国漁業が将来にわたり発展し、国民に水産食料を安定的



大会参加の本県代表者

た。この後、自民党代表の野中広務幹事長代理が、「わが国の貴重な財産である水産資源を守り、漁業者が安心して操業出来るよう政府と一丸となつて全力を傾注する」と決意を述べた。

出席した自民党国会議員の紹介をした後、二百海里副本部長の永岡哲雄山口県漁連会長が決議を朗読し満場の拍手で採択した後、急きよ水産物の貿易自由化、

に供給するため、

一日も早い日中・

日韓資源管理体制

の確立を強く要求

する」と述べた。

続いて、漁業者を

代表して長崎県美

津島町漁協の財部

司組合長、兵庫県

柴山港漁協の村瀬

晴好組合長が現場

の被害状況を報告

し、意見表明を行つ

市場開放に反対する全国漁民大会に切り替え、永岡山口県漁連会長が決議を朗読し、満場一致で採択して大会を終了した。

大会終了後、

参加者は、外務

省、農林水産省

に向けてデモ

行進を行った。

要請団は内閣

官房長官、外

務大臣、農林

水産大臣、中

国・韓国大使

館等へ要請活

動を展開した。



デモ行進を行う大会参加者

日中・日韓資源管理体制の確立に関する決議

130を越える国が国連海洋法条約に基づき資源の保存管理を行っている中で、日中新漁業協定は発効を見ないまま、協定署名から丸2年を迎えようとしている。かかる状況下、去る8月、自民党においては、本年11月を期限として、協議がまとまらない場合、現行協定の終了通告もあり得ることが確認されている。

資源を根こそぎにする中国漁船の無謀操業により資源は枯渇し、その影響はわが国周辺水域全体に及んでいる。遅々として進まない交渉に漁業者の怒りは頂点に達しており、中国に対しては、現行協定の終了通告により期限を切るしかない、との訴えが日毎に高まっている。

また、韓国との間の暫定水域における操業条件等に関する交渉も進展しておらず、協議を進めようとする韓国に対しては、来年のEEZ内操業交渉について厳しい対応を行うべきとの声が沸き上がっている。

このような状況を踏まえ、下記事項の実現について政府・国会に対し、強く要請する。

記

1. 中国に対し、現行協定の終了通告を行う等、交渉期限を切る措置を講じること。
2. 日韓漁業共同委員会の交渉を促進し、日韓暫定水域における資源管理体制を早期に確立すること。

以上、決議する。

平成11年11月4日

日中・日韓資源管理体制確立要求全国漁民大会